

令和5年度事業計画

中国情報通信懇談会は、ICTを活用した最先端技術や政策動向などの情報提供のほか、地方公共団体と会員企業との意見交換の場の提供など、中国地域のICTの普及やICTを活用した地域経済の活性化に資する重要な任務・役割を担ってきました。

令和5年度は、地方に恩恵が多い「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、ICT・IoTを活用した地域の課題解決のための地域のデジタル実装や、それを支えるデジタル人材育成等、誰一人取り残されないデジタル社会の実現などの取組を促進するため、関係機関と連携し、開催地域のバランスを考慮しながら、次の事業を行います。

1 中国情報通信懇談会第38回総会

日 時 令和5年5月30日(火) 14:00~15:15

開催方法 Web会議システムを用いたオンライン開催及び会場

2 会員に対する情報提供

(1) ホームページの活用等

懇談会主催の各種イベントの開催案内や開催報告等について、ホームページ等に掲載し、情報発信に努めます。併せて、FacebookやTwitter等のSNSによる情報発信の充実にも努めます。

(2) メールマガジン「C—LINE」の発行

会員向けメールマガジン「C—LINE」は、懇談会主催の講演会・セミナーや会員からの情報提供、情報通信に関する最新の政策動向等を掲載し、電子メールによりタイムリーな情報提供に努めます。

3 普及・啓発活動

(1) 懇談会事業

以下のとおり、重点的かつ部会横断的に取り組むテーマを選定し、懇談会事業として取り組むこととします。

① デジタル実装の推進

政府の最重要課題として位置付けられている「デジタル田園都市国家構想」が掲げる「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指し、企業や大学、中国地域の国の地方行政機関等で構成する「中国地域におけるSociety5.0の実現に向けた連携・協力会」などと連携して、地域課題解決案の提案会やICT利活用事例等を紹介するセミナーの開催、国のデジタル関連支援施策の紹介やデジタル人材の育成支援などの取組を推進します。

② ICTを活用した災害時に向けた取組

我が国では、全国各地で毎年のように大雨による被害が発生しており、国土交通省では、

防災・減災に対する取組として、令和4年6月に線状降水帯の予測情報の提供を始めました。

また、一方で、近々に発生するとされる南海トラフ巨大地震では瀬戸内海に面した地域でも、シミュレーションでは最大震度6強、最大津波4mが想定されており、災害に対する対策が急がれているところです。

これらの取組のように、豪雨災害、地震等の災害発生に備え、中国地方のICTを活用した取組事例等を紹介するセミナーを開催し、参加者の防災意識のさらなる啓発を図ります。

③ サイバーセキュリティ対策

ニューノーマル時代において、テレワークやオンライン会議の導入が急速に普及してきている中、サイバーセキュリティ分野における人材育成や意識啓発が重要な課題となっています。

また、地方公共団体や中小企業等に対する不正アクセスやネットワーク経由での情報改ざん・漏えいなど、サイバー攻撃による脅威の増大を踏まえ、関係団体などと連携し、総務省、研究機関、民間企業等の専門家を招き、サイバーセキュリティに関する最新の動向及びその対策などをテーマにインシデント演習などを織り交ぜた勉強会等を開催します。

④ オープンデータの利活用の推進

地方公共団体のオープンデータへの取組みを加速化し、中国地域のオープンデータの一層の利活用推進を図るために令和元年度から「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」を設け、「防災」をテーマに中国地域の課題を整理し、その課題を解決するためのデータ利活用の方向性等を議論してきました。

令和4年度に行った5県2政令市へのヒアリングから、これまでの取り組みにより防災時に必要なデータの公開も一定程度進捗しており、オープンデータのみならずデータ利活用への取り組み意識が高まってきているものと考えられます。

今後は、他地域や民間連携等のデータ活用事例の紹介や、データ活用基盤整備に関する動向・方針の情報共有など、データ利活用に関する意識醸成を高める活動を推進していきます。

(2) 支援事業等

地域情報化の推進及び地域活性化に寄与すると認められる活動に対して支援を行うとともに、情報通信月間行事への積極的な参加を促進します。

4 部会活動

(1) 地域情報化部会（旧：地域情報化・コンテンツ部会）

地域情報化部会はデジタルを活用した地域課題解決、地域のデジタル人材の確保、行政のデジタル化、デジタルの活用支援などを図るため出前講座やデジタル田園都市国家構想に寄与することを目的としたセミナーの開催、地域課題解決や中国情報通信懇談会の会員メリット創出のため、会員が所有する有効なICTソリューションの展示会及び会員向けの施設見学などを開催します。

(2) 電波利用促進部会

地域の課題解決に資する電波の利活用をテーマとした講演会を実施するなど、懇談会事業と連携し、電波利用システムの普及促進を図ります。

今年度も、地域課題解決を実現するための「ローカル5G」等について、各地で実施されている実証試験の状況や最新動向をテーマとし、電波利活用促進と地域課題の解決に繋がるセミナーと、

電波利用による地域活性化につながるセミナーを開催します。

(3) 放送部会

中国地域における放送メディアの普及・促進に向け、「ラジオ・テレビ放送の安全・安心」、「放送コンテンツの利用促進」、「放送政策・放送サービスの最新動向」、「ローカル局の先進的取組、優良事例」等から懇談会会員などが求める課題を検討しセミナー等を開催します。

また、「放送と通信の連携など」大きな環境変化が進むなかで、一般社団法人中国経済連合会と連携した取組を開催します。

(4) 電波の日・情報通信月間推進部会

電波の日・情報通信月間の記念式典を開催すると共に、電波の日・情報通信月間の意義等について、広報活動を通じて広く国民に周知します。

また、令和5年度電波の日・情報通信月間記念講演会を開催します。

【記念式典】

日 時 令和5年6月1日(木) 11:00～

開催場所：広島市内

【講演会】

日 時 令和5年5月30日(火) 15:30～16:30

開催方法 対面に加え Web 会議システムを用いたハイブリッド開催

演 題：「Chat(チャット)GPT」にみるAIの進化

～AIと人・社会との共生～

講 師：慶應義塾大学 理工学部 教授／共生知能創発社会研究センター長

栗原 聡 氏

5 組織運営等

(1) 顧問等会議

会則第8条の2の規定に基づき、最新の政策動向や会員のニーズを事業計画案の策定に反映させるため、顧問等会議を年1回開催します。

顧問等会議の開催に先立ち、会員のニーズ把握のため、電子メール等を活用し、アンケート調査を実施します。

(2) 運営委員会

会則第11条の規定に基づき、事業の具体化等必要な検討等を行うため、運営委員会を年間2回程度開催します。

(3) 新規会員の獲得

当懇談会の一層の発展を図るため、地方公共団体及び民間企業等の加入に向けた働きかけ等を通じ、新規会員の獲得に努めます。

(4) その他

普及・啓発活動及び部会活動のセミナー等を行う場合は、開催主旨や効果を踏まえたうえで、開催地が特定の地域に偏在しないよう努め、活動内容改善のためのアンケート調査に取り組みます。

6 その他

(1) 表彰について

懇談会事業や地域の ICT の推進に貢献が認められた団体等を対象に、その功績をたたえて表彰を行います。

(2) Web 会議システム活用

会議やセミナーなどの実施にあたっては、社会情勢などを踏まえ、Web 会議システムなどを有効に活用します。また、開催にあたっては、原則として対面とオンラインを併用した実施とし、やむを得ない場合はオンラインのみでの実施とします。おって、アーカイブ配信や機器展示等、対面及びオンラインそれぞれの特色を生かした取り組みも進めます。

令和5年度予算（案）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

収 入

項 目	予算額	前年度予算額	参 考 (予算額-前年 度予算額)	備 考
会 費	5,720,000	5,800,000	-80,000	2万円×286口
寄付金	0	0	0	
援助金	115,000	115,000	0	情報通信月間推進行事援助金
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息
繰越金	5,274,209	5,270,064	4,145	
合 計	11,110,209	11,186,064	-75,855	

支 出

項 目	予算額	前年度 予算額 (前年度 執行額)	参考 (予算額-前年度 予算額)	備考	
会 議 費	750,000	950,000 (279,250)	-200,000		
総会	400,000	600,000 (171,114)	-200,000	記念講演会との同日開催のため減額（オンライン）	
運営委員会	150,000	150,000 (73,192)	0		
顧問等会議	100,000	100,000 (5,986)	0		
その他	100,000	100,000 (28,958)	0		
事 業 費	6,600,000	6,600,000 (3,897,662)	0		
懇談会事業					
デジタル実装の推進	500,000	1,000,000 (0)	-500,000	セミナー1回 500,000円（ハイブリッド開催）	
ICT を活用した災害時に向けた取組	500,000	650,000 (204,481)	-150,000	セミナー1回 （ハイブリッド開催1回）	
サイバーセキュリティ対策	500,000	650,000 (493,370)	-150,000	勉強会1回 （対面開催1回）	
オープンデータの利活用の推進	300,000	450,000 (43,620)	-150,000	オープンデータ普及促進企画等 （オンライン 100,000円×3）	
ひろしま IT 総合展 2022	0	200,000 (200,000)	-200,000	隔年開催のため減額	
部会活動					
地域情報化	地域におけるデジタル化の推進	800,000	950,000 (764,065)	-150,000	イベント1回（ハイブリッド開催）500,000円 出前講座3回 100,000円×3
	地域課題解決に資するICT ソリューション等の展示会	1,200,000	500,000 (548,229)	700,000	セミナー→展示会 （ハイブリッド）
	施設見学	200,000	0	200,000	新規事業
	コンテンツの流通促進	0	150,000 (0)	-150,000	放送部会へ移管

電波利用	電波利活用をテーマとしたセミナー	650,000	650,000 (507,769)	0	セミナー2回 (ハイブリッド開催1回)
放送	放送分野の普及・促進の取組等	550,000	500,000 (381,930)	50,000	セミナー等 (ハイブリッド開催予定)
電波の日	記念式典の開催、周知広報活動の展開	800,000	300,000 (174,460)	500,000	記念式典付帯費用+レセプション (50万)
	記念講演会	600,000	600,000 (579,738)	0	ハイブリッド開催
支援事業		900,000	900,000 (325,000)	0	会員主催のセミナー等 (年度会費収入の15%)
ホームページ		550,000	1,050,000 (528,040)	-500,000	昨年度増額分減額
事務局		1,460,000	1,530,000 (1,081,971)	-70,000	
	通信費	600,000	670,000 (368,304)	-70,000	経費見直し
	支払手数料	30,000	30,000 (15,425)	0	
	備品・消耗品	325,000	325,000 (218,242)	0	
	人件費	480,000	480,000 (480,000)	0	
	その他	25,000	25,000 (0)	0	
予備費		850,209	156,064 (0)	694,145	
合計		11,110,209	11,186,064 (6,111,923)	-75,855	

※ セミナーの開催経費の概算 (会場借上げの場合)

会場借料及びweb会議運営：450,000円

会場借料のみ：100,000円

司会料：20,000円、

講師謝金：30,000円 (1名分)

(セミナー基本経費)

ハイブリッド開催：500,000円/回 (会場借料+司会+謝金)

オンライン開催：150,000円/回 (同上)

令和5年度役員（案）

（敬称略）

会 長		一般社団法人中国経済連合会 会長 （令和5年度中国経済連合会定時総会 （6月7日予定）で選任された者）	
副 会 長	田部 長右衛門	山陰中央テレビジョン放送株式会社 代表取締役社長	新 任
運営委員長	相原 玲二	広島大学上席特任学術研究員 特命教授	再 任
監 事	西村 宜三	山口県立総合医療センター システム管理課 課長	再 任
監 事	内田 喜久雄	一般社団法人中国自動車無線協会 専務理事	再 任